

河内かわちの大橋おほはしを独りひと行く娘をとめ子こを見る歌うた一首 井あはせ  
て短歌たんか

一七四二番

しなでる 片足かたし羽川はがはの さ丹塗にぬりの 大橋おほはしの上うへゆ  
紅くれなるの 赤裳あかもすそび裾すそ引き 山藍やまあるもち 摺すれる衣きぬき着きて  
ただひとり い渡わたらす児こは 若草わかぐさの 夫つまかあるら  
む 櫃かしの実みの ひとりか寝ねらむ 問とはまくの 欲ほ  
しき我妹わがもが 家いへの知しらなく

反歌はんか

一七四三番

大橋おほはしの 頭つめに家いへあらば ま悲かなしく ひとり行ゆく児こ  
に 宿貸やどかさましを